

謹啓

今回の事――

御慮慮の程――

まことに五體三墳に――

又國家のしゆんを――

痛心極り――

此の難るを――

是方の厚徳を――

たゞしには――

伯樂の――

其の――

ま且んちの――

ふく――



おのゝち

三月十三日 東京

おのゝち

おのゝち

おのゝち

おのゝち

おのゝち

おのゝち

おのゝち

おのゝち

おのゝち

おのゝち

おのゝち

おのゝち

おのゝち

たゞに可なりとのみあり

ある閣下の断乎たる日

英雄的は決らざる

のみ

閣下の日英断に甚

しはは少壯者の

深く日英を甚かに

明るあり

在接多量ともて

存せしことと欲する

病のためにははざる

みししとみしと

と心断るるあり

大正

二月四日

押川才義

上心

大正
八月四日
押川才義

伯耆大隈重信閣下

牛日也早稻田

速達

伯耆大隈重信閣下

親展



票號番
四〇貳

減

八月四日夜
押川才義

芝公園十号ノ三

90

